



# 広安里

発行 釜山日本人学校

釜山広域市水営区民楽洞173-8

TEL 051-753-4166

FAX 051-756-4851

<http://user.chollian.net/~pusjpnsc>平成  
17年度  
第10号

## 私のPTA活動

PTA代議員 鄭 順伊

PTA代議員になって、もう1年が過ぎようとしています。最初に代議員のお話を頂いたときは、自信がなかったのでお断りをしようと思いましたが、考え直してお引き受けしたのです。

私は、自分の娘たちが入学してから何度かPTA会議に出席したことがあります。会議中に、日本語が十分話せなかった私は、言いたいことが上手に表現できずに困ったことが時々ありました。そんな事が続くと、少しずつ学校から足が遠のくようになったのです。そんなときに代議員のお話を頂き、これが学校のことをもっと理解できたり、保護者の方々とも理解し合えるきっかけになるのではないかと思い、このお話をお引き受けしたのです。自信はありませんでしたが、夫も協力を惜しまないと励ましてくれました。

そんな私でしたが、第1回PTA会議を前に入院してしまったのです。当然、会議には出席できず、皆さんに申し訳ない気持ちで一杯でした。ですが、PTAの皆さんに温かなお言葉をかけて頂き、本当に嬉しく思いました。

第2回会議に参加できたときには大変嬉しかったのですが、同時に新たな悩みも生まれました。それは、会議中、皆さんの日本語を上手に聞き取ることができなかつたことです。会議が終わったあとに、私は落ち込みました。それでもそのままではいけないと思い、他の代議員さんたちに内容をお伺いしたところ、とても分かりやすく親切に教えて頂きました。そのときに私は思ったのです。「こんなに優しい皆さんと一緒にするなら、私でも1年間やっていけるかもしれない。」

そうやって始まった代議員としての活動も終わりに近づいています。今年はたくさん行事(運動会、バザー、30周年記念式典等)がありました。その全てが保護者のみなさんと先生達の協力体制があったからこそ、できたことだと思います。行事の準備も大変でしたが、皆さんと談笑しながら活動する事ができ、楽しい思い出として残っています。最初は心配でしかたなかったPTA代議員のお仕事ですが、終わりが近づいてくると名残り惜しいような気さえます。ですから、この残り少ない活動期間を皆さんと楽しみながら頑張りたいと思います。

## 人との出会いを大切に

PTA代議員 川井八千代

新しい年が明け、早1ヶ月が過ぎようとしております。

年頭にあたり、改めてここでの生活について考えてみることはじめました。

約二年前、まだ春浅い釜山の空港へ降り立った日のことを今も鮮明に覚えています。

言葉も全く分からず、知り合いもない所で、いったいどうやって生活をしていけばよいのかと不安な気持ちで押しつぶされそうになりました。そんな時、私の以前の勤務先の上司の言葉を思い出しました。「人との出会いを大切に」その言葉に後押しされる様に、ここでの生活の決心ができました。

生活をしていくにつれ、毎日利用するタクシーの運転手や会えばにこやかに挨拶をしてくれる様々な方に人間の温かさを沢山感じながら次第に生活がしやすくなっていったように思います。

子どもの通う幼稚園では、様々な国の方が居られ、文化の違いから生じる考え方の相違も感じはするものの、新たな考え方に気づかされることもあります。

また今年度は役員を仰せつかり、力及ばない事もあるかと思いますが、皆様の御指導も頂き、私なりに勤めさせていただいております。

子供たちも、こちらにきてから多くの方々に、手助けや教をいただき、楽しさを体いっぱい表す姿を目にする機会が多くなったように思います。特に釜山日本人学校の学年を越えた交流や多種多様な行事から、今まで経験した事のない貴重な出会いや体験を通じて日々、心身共に大きな成長が感じられます。親としては、このうえない感謝の気持ちでいっぱいです。

かつて、私は「人との出会いを大切に」この言葉の意味を理解しているつもりでしたが、ここに来て改めて、どんな小さな出会いにも意味があるのではないかと考えさせられました。そして私は、出会いを通して様々なことを学び、考えまた成長することが出来ると実感させられました。

すべてのはじまりは出会いから。今まで出会った多くの方々に感謝し、今まで以上に出会いを大切にしていきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。